

## 中学生職場体験学習

### —スルメイカの解剖・測定など体験—

令和元年11月7日に、下田市立下田東中学校の生徒3年生2名が当場に職場体験学習に訪れました。

現在、伊豆分場で行っている仕事としては、アワビやテングサ等の磯根資源を調査する潜水調査、魚市場で漁獲物の体長等を測定する市場調査、キンメダイの種苗生産研究などがありますが、職場体験は午前8時30分から午後3時までと短いスケジュールのため、海洋観測、スルメイカの解剖・測定(写真1)、コレクター調査(稚イセエビ採集調査)(写真2)、飼育生物への給餌などを体験してもらいました。イカの解剖は初めてとのことで、最初は緊張していましたが、興味を持ち熱心に取り組んでいました。

下田東中学校では「総合的な学習」の一環として職場体験学習に取り組んでおり、働くことの意義や厳しさを学び、学校生活や進路決定に生かすとしています。筆者も下田東中学校出身で、当場に職場体験に来たことがあり、その時は水揚げデータの入力作業を体験したと記憶しています。この職場体験をきっかけに水産技術研究所で仕事をしてみたいと思っただけであれば嬉しいですが、伊豆の水産業への理解は深めてもらえたと思います。

(鈴木勇己)



(写真1)スルメイカの解剖・測定



(写真2)コレクター調査